

会 議 録

会 議 名		第 63回 八王子市ごみゼロ社会推進協議会			
日 時		令和 4 年(2022 年)5月 17 日(火)	開始	午後 2 時 00 分	終了 午後 3 時 45 分
場 所		八王子市役所8階 802会議室			
出席者	委 員	石井委員、今委員、加地委員、間嶋委員、来住野委員、天野委員、清水委員、中村委員、上村委員 以上9名			
	事務局等	真辺資源循環部長、木下循環型都市推進専門管理官、奈良ごみ減量対策課長、河内廃棄物対策課長、堂本清掃施設整備課長、森田ごみ総合相談センター所長、久保田戸吹清掃事業所長、岡田戸吹クリーンセンター所長、熊澤北野清掃工場長 【ごみ減量対策課】白鳥主査、田代主査、前川主査、小楠主任、石川(伸)主任、篠沢主任、小口主事、宮本主事、森田専門員			
欠 席 者		齋藤委員、計委員、押山委員、安瀬委員、大貫委員 以上5名			
議 題 等		1. 議題 ごみ処理基本計画の改定について 2.その他			
公開・非公開の別		公開			
傍 聴 人		なし			
配 布 資 料		会議次第 八王子市ごみゼロ社会推進協議会 席次表 八王子市ごみゼロ社会推進協議会 委員名簿 令和 4 年(2022年)4月1日付人事異動 資料1-1 ごみ処理基本計画の改定について 資料1-2 ごみ処理基本計画改定に向けたキーワード			

	<p>1. 議題 ごみ処理基本計画の改定について 【意見、質疑応答等】</p> <p>委員： 北野清掃工場の休炉について利用する市民への周知は行うのか。</p> <p>市： 市民が北野清掃工場に持ち込むことはなく、委託業者が収集した可燃ごみが持ち込まれている。また、事業者が持ち込む紙資源のストックスペースはすぐに持ち込みが出来なくなるということはないが、工場の廃止とともに今後考えていく。</p> <p>委員： ごみの持込みは戸吹と館だけになるのか。</p> <p>市： 引き続き多摩清掃工場にも持ち込める。</p> <p>委員： 不法投棄や外国の方への周知なども計画に取り入れるべきである。</p> <p>市： 9ヵ国語の収集カレンダー補助冊子を用意しており、清掃事業所で指導を行っている。</p> <p>委員： 上川町に林道が多く、冷蔵庫などの粗大ごみの不法投棄が多い。どうしたらよいか。</p> <p>市： 市内に約50の防犯カメラを設置している。清掃事業所でも夜間パトロールなどで抑制している。場所を詳しく教えてもらえたらパトロールに行く。廃棄物対策課では不法投棄の取り締まりや指導をしており、情報がなにより大事なので提供していただきたい。不法投棄ごみを片づけることも大事であるが、再発しないように土地の所有者などにも不法投棄されないような策を取ってもらうように指導している。</p> <p>委員： 河原に草が生い茂っており、ごみが捨ててあってもわからない。川の清掃はどこが行うのか。市と都で共同して実施してもらえると助かる。</p> <p>委員： ごみ収集カレンダーについて、図解をつけて具体的に項目が表示されていて大変分かりやすい。丁寧な配慮がされていて嬉しく思う。</p> <p>委員： 粗大ごみについて、インターネットで申し込みが出来るようになり、若い方から大変出しやすくなったとの話を聞く。</p> <p>委員： 不燃ごみについて、月1回になったが、受入れ状況について聞きたい。</p>
--	---

	<p>市：不燃ごみは順調に減量されている。月1回の収集になった影響か分からないが、昨年の4月に比べ大分減量された。</p> <p>委員：ステイホームが増加したことにより、リサイクル率が上がったとはどういうことなのか。また、コロナ禍で変わったことはあるか。</p> <p>市：家にいる時間が増えたことで片付けをする人が増え、分別が進んだと思われる。特にダンボールは20%程増えている。ネット販売を利用する人が増えたことが要因にあるか。自宅飲みが増えたことにより、缶やびんの排出量も例年に比べると増えている。粗大ごみの申し込みも増えている。家庭ごみは増えているが、駅前や繁華街などの事業者から出る厨芥ごみは減っている。</p> <p>委員：川の清掃デーは全市域で実施しているのか。</p> <p>市：全市域で実施しているが、みんなの川の清掃デーという名前から、川が無い地域の方々が参加できないと思われるため、全市民が参加出来る名称に変更することを検討している。</p> <p>委員：多くの町会や自治会で廃品回収を行っているが、ダンボールなどは大きな収入になる。普及が進めば良いと思う。</p> <p>委員：セブン-イレブンの回収について、利用者はいるのか。</p> <p>市：令和3年8月から回収が始まり、当初は知らない方が多く回収量が少なかったが、セブン-イレブンから毎月報告があり、徐々に増えてきている。このペースであれば年間54t程度となり、これは行政回収の2.5%の量となる。今後ますます回収を増やすことが出来れば、行政の回収の負担を減らすことが出来るため、大変良い取り組みだと考えている。</p> <p>委員：海洋プラスチック問題について、八王子市は川が多いが、川に捨てられるプラスチックは減っているのか。</p> <p>市：統計はとっていないが、町中に捨てられたものが川に流れて海に行くというのが多い。不法投棄されたごみとしての量は横ばいである。</p> <p>委員：市役所食堂のテーブルに食品ロスの啓発物があった。こういった取り組みが増えれば意識が変わっていくと思うが、家庭ではどうなのか。</p> <p>委員：夕方スーパーに行くとき値引きされた食品があり、需要もあり良い取り組みだと思っている。コンビニでも賞味期限の</p>
--	--

	<p>近いものを値引きで販売するようになった。良い取り組みだと思っている。</p> <p>市：フードシェアリングというシステムがあり、アプリに登録してもらい、小売店などが賞味期限の切れそうな食品を掲示して、それを見た方が店に買いに行くというものを他市町村で実施している。八王子市でも完食応援店という啓発活動を行っているが、食品ロスは大きな問題なので今後取り組んでいきたい。</p> <p>委員：生ごみを出す時の水切りについて、市民への周知は出来ているのか。</p> <p>市：3切り運動というものをやっている。広報で周知しているがどこまで浸透するか苦慮している。また、水分が多いと清掃工場で燃焼温度が下がってしまい助燃材が必要になってしまう。</p> <p>委員：スーパーで実施している手前取りは、始める前と後で廃棄率は減ったのか。</p> <p>委員：皆さんが考えているよりもスーパーでの実際のロスは少ない。食品ロスについて一番の問題は、推計量としていところであり、どのくらいの量が実際に捨てられているのか全体量が分からない。なかなか効果も見えない。効果測定や評価の仕方を考えないと進まない。例えばブロッコリーの茎など、初めから食べない部分も含まれる。食品ロスというとらえ方が難しい。</p> <p>市：組成分析を実施して、ごみの中の食べ残しや未利用食品などを分析して推計している。もしかしたら家庭に入ってモニター調査などをすれば精度が高いかもしれない。</p> <p>委員：キャベツなど、生産者が輸送の時に痛まないように外葉を多く残して売っている。持って帰るとごみになるので店で落としてくる。</p> <p>市：1/3ルールと言われる賞味期限が1/3を切ると廃棄するといった商習慣はいまだにあるのか。</p> <p>委員：昔に比べて、メーカーは過剰に生産しない。かなりシビアになっていると思う。企業はパッケージされたものがロスになった時に、合法的に処理しようとする物凄く手間と費用が掛かる。</p> <p>委員：防災倉庫に賞味期限が切れた乾パンやアルファ米があり、かなりの量を捨てないといけない。それも考えないといけない。</p> <p>市：貯めて食べてを繰り返すローリングストックが有効である。</p>
--	--

	<p>委員：GPS や AI 等を活用した収集業務の効率化とは具体的にどのような取り組みなのか。</p> <p>市：GPS を搭載するタブレットを収集車両に搭載するという技術がある。収集ルートや収集時間などの情報をリアルタイムに把握することが出来る。このような技術を活用して収集の効率化を図ることが出来る。それによるゼロカーボンシティの実現に取り組みたい。</p> <p>委員：有事における災害廃棄物について、近年富士山の噴火が取りざたされているが、八王子市に溶岩が流れてくることはないが、火山灰が降ることが予想される。そのため、町会で灰を入れる袋を用意しようと考えているが、なかなか実行できない。市で配布することはできるか。</p> <p>市：富士山の噴火については、市の地域防災計画でも被害想定していないので、これから検討することになる。</p> <p>委員：清掃施設の老朽化について、新しい土地の確保など進めているのか。</p> <p>市：この先どうしていくかこれから検討していく。</p> <p>委員：人口が減るとごみは減るものなのか。八王子市の人口も今がピークだろうし、そうするとごみは減っていくか。</p> <p>市：都の計画や民間の活用など、いろんな選択肢があるので、そういったことも踏まえて計画を作っていきたい。</p> <p>委員：北野清掃工場がなくなって、人口は減るにしても3つの工場でごみを処理するだけのパワーはあるのか。</p> <p>市：問題ない。</p> <p>委員：大規模施設が市内にいくつか出来るが、ごみの増加について想定しているのか。</p> <p>市：施設が出来れば事業系一般廃棄物は増えるが、清掃施設を建設する時にごみの量を推計して、災害廃棄物を含めある程度の余力を持っている。</p> <p>次回のごみゼロ社会推進協議会の日程について</p> <p>市：令和4年度の協議会は、5回の開催を予定している。7/26の第64回協議会は、館クリーンセンターの施設見学を予定している。開催にあたっては改めてご案内する。</p>
--	--